

(公財)日教弘教育実践研究論文募集事業
日教弘広島支部 教育実践研究論文 募集要項

本事業は、広島県内の教育関係者が日々行っている教育実践の優れた成果の報告の場として、教育実践研究論文を募集する事業です。令和7年度は、下記要項のとおり実施します。

1 主 催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 広島支部

2 後 援 文部科学省 広島県教育委員会（予定） 広島市教育委員会（予定）

3 募集要件

(1) 募集要件

- 広島県内の国・公・私立の幼稚園・各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者が日々行っている教育実践の優れた成果の報告の場として教育実践研究論文を募集します。
- 未発表の論文であること。
公的機関，研究会，市販の図書・教育誌等にすでに発表したもの及び他団体に応募（推薦含む）済みのものは対象外とします。当会への提出後に、発表・応募したのも対象外とします。
- 日教弘広島支部の論文募集において過去3年以内（令和5年度と令和6年度）に受賞していないこと。「学校研究助成金」に申請した学校は、同じ年度の「学校部門」には応募できません。
- 要旨，論文の様式に不備がないこと。
- 論文において，参考並びに引用した箇所，及び文献を明記すること。
論文の一部であれ，他者の著作物を無断でコピーしたり，インターネット上で無断利用した内容を組み込んだりしたものは，応募できません。
- 応募は，1校（学校，個人・グループ）1編とします。

(2) 募集対象

① 学校部門

広島県内の国・公・私立の幼稚園・各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体

※ 学校で応募する場合は校長が，他の教育機関等から応募する場合は機関の所属長・代表者が応募者となります。

② 個人・グループ部門

上記の学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人・研究グループ

※「教育関係者」とは、広島県各市町等に設置された国・公・私立の学校，その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者としてします。

※ 勤務先の園長・校長の了承をあらかじめ得てください。

※ 校長が当部門へ応募する場合は，学校全体の取り組みではなく，個人として独自にテーマを設定し研究実践した内容の論文に限ります。

※ グループで当部門へ応募する場合も，上記と同様に，グループで本年度のテーマ（学校全体で取り組むテーマとは異なる）を設定し研究実践した内容の論文を応募することができます。

(3) 募集期間

令和7（2025）年7月1日（火）～令和7（2025）年8月22日（金）必着

(4) スケジュール

令和7年 8月22日	申請書提出締切
令和7年 9月下旬以降	審査及び選考の過程（審査委員会（1次・2次）・選考委員会・幹事会）を経て，支部長が各賞を決定します。
令和7年11月15日頃	決定通知を各応募者に送ります。
令和7年11月22日（土）	表彰式（最優秀・優秀・優良賞）を行います。
令和7年11月30日頃	奨励賞の賞金は指定の口座へ振り込みます。
令和7年12月中旬以降	奨励賞の表彰は各学校で行います。

(5) 応募方法

① 申請書の作成・提出

ア 当支部ホームページを開き，「日教弘広島支部 教育実践研究論文 申請書（様式1）」をダウンロードしてください。

イ 申請書に必要事項を記入してください。

ウ 印刷・捺印の上，様式に則って作成した論文（A4判縦2段組4枚，参考並びに引用した文献の部分を含む）とともに当支部へ郵送にて送付してください。

② 締切

締切は，令和7（2025）年8月22日（金）必着とします。

<個人情報の取り扱いについて>

○ 個人情報は，本事業に関わる目的にのみ使用し，他の目的には使用いたしません。

○ 各賞を受賞された学校名・個人名及び表彰式の模様を広報誌等で公表します。

4 賞 金

最優秀賞（各部門1編）：学校部門20万円 個人部門15万円
優秀賞（各部門2編）：学校部門15万円 個人部門10万円
優良賞（各部門3編）：学校部門10万円 個人部門7万円
奨励賞（予算内で算定）

※ 各賞の該当数は応募編数により変わることがあります。

※ 応募要件を満たしていない場合、受賞の対象外となります。（受賞後に発覚した場合も賞の取消及び賞金の返金を求めることがあります）

5 選 考

(1) 選考方法

審査委員会（1次・2次）、選考委員会、幹事会の審査及び選考を経て、部門ごとに最優秀・優秀・優良・奨励賞の各受賞校と各受賞者を支部長が決定します。

結果は文書で各応募者に連絡します。（11月20日頃）

なお、受賞の理由、選考に関わる問い合わせには回答しません。

(2) 選考基準

- ① 現代の教育課題を適切に取り上げられているか。
- ② 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- ③ 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- ④ 理論と実践が一体となった研究であるか。
- ⑤ その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

6 研究集録の刊行

最優秀賞・優秀賞・優良賞の論文は、当支部が発刊する「教育実践研究論文集No.24」にまとめて刊行します。また、県内の各学校に謹呈し、研究の紹介に努めます。

奨励賞該当論文については、「論文の研究主題・執筆者の名前・勤務校」を掲載します。応募された論文の著作権は広島支部に所属します。

7 日教弘教育賞への推薦

最優秀賞2編、優秀賞1編を「日教弘教育賞」（日教弘本部）に推薦します。

ただし、過去5年以内（2021～2024年度）に推薦を受けた学校・団体・個人等は部門を問わず除きます。

なお、研究グループは「個人部門」として扱います。

表彰及び賞金額は次の通りです。

最優秀賞（2編）：学校・研究団体50万円または個人・研究グループ30万円

優秀賞（6編）：学校・研究団体40万円または個人・研究グループ20万円

優良賞（8編）：学校・研究団体 30 万円または個人・研究グループ 15 万円

奨励賞（上記外論文）：学校・研究団体 10 万円または個人・研究グループ 5 万円

※ 推薦の際、住所・名前・生年月日・性別・電話番号等をお聞きします。

※ 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当者については、東京で表彰式を行い贈呈します。

なお、表彰式に出席しない奨励賞該当者については、広島支部から贈呈します。

詳しい日程等については、該当者に別途案内します。

※ 日教弘教育賞研究集録を刊行し、教育の振興に役立てます。最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当論文については全文を掲載し、奨励賞該当論文については「論文の研究主題・執筆者の名前・勤務校」を掲載します。また、ホームページにも掲載します。

8 その他・注意事項

(1) 提出された書類等は返却しません。

(2) 論文として他の研究機関のホームページや広報誌、研究紀要等において発表する場合は、公益財団法人日本教育公務員弘済会広島支部の教育実践研究論文に応募したことを明記してください。

(3) 応募に当たって不明な点などがある場合は、担当者までご確認をお願いします。

9 提出・問い合わせ先

公益財団法人日本教育公務員弘済会広島支部 担当 清水・河野

〒732-0052 広島市東区光町二丁目 8 番 32 号 エコード広島 4F

T E L : 082-264-5424 F A X : 082-264-0741

E-M A I L : hiroshimakkyoko@titan.ocn.ne.jp